

UBECITY
TOKIWAPARK

石炭記念館の 今後の方向性について



令和2年8月

宇部市石炭記念館の歩み ～炭都宇部の象徴として

成り立ち～history



宇部市石炭記念館は、宇部炭田発祥の地である常盤湖畔に、日本で初めての石炭記念館として建設されました。石炭のもたらした多大な恩恵に感謝するとともに幾多の貴重な文献機材を整備し、その歩みを永く後世に伝えようと県・市および石炭関係者をはじめ多くの市民の寄附により、昭和44年（1969年）11月1日に竣工しました。

特徴～characteristics



館内にある約3,000点の炭鉱関連資料の収蔵品は、平成19年に経済産業省の近代化産業遺産に選定されています。また、石炭記念館の象徴である櫓は、宇部興産株式会社東見初炭鉱で閉山に至るまで活躍した竪坑櫓を移設し、エレベーターを設置して展望台としたもので、地上37m、海拔65mの展望台からは、眼下に見下ろす常盤湖や瀬戸内海、九州、四国の山々が眺望できます。

現状～current situation



開館以来、多くの方にご利用いただいておりますが、築後50年以上が経過し、建物や設備の老朽化が進んでおり、改修が必要な状況にあります。

施設の概要

展示資料館	構造種別	鉄筋コンクリート造
	階 数	2階
	延床面積	927.84m ²
展 望 塔	構造種別	鉄骨造
	鉄塔高さ	28.45m
	上載施設	展望台EV機械室

年度	開館日数	入館者数	
		年間	1日平均
令和元年度	292日	35,587人	121.8人
平成30年度	315日	38,681人	122.7人
平成29年度	316日	42,765人	135.3人

・耐震改修 なし

・バリアフリー 一部対応済

収入と支出の状況（過去3年）

年度	収入	支出	* 収入 ・ ・ ・ 書籍(石炭記念館 記録集)等販売収入 * 支出 ・ ・ ・ 光熱水費、人件費 (学芸員)、委託料、 消耗品等
令和元年度	2 1 千円	1 2, 8 1 8 千円	
平成30年度	2 8 千円	1 2, 9 0 9 千円	
平成29年度	4 3 千円	1 4, 2 8 0 千円	

※石炭記念館は、宇部市の石炭の歴史を後世に伝承することを 目的としているため、入館料は無料としている

抱える課題



展示スペース不足の解消
(収蔵品：近代産業遺産に認定)



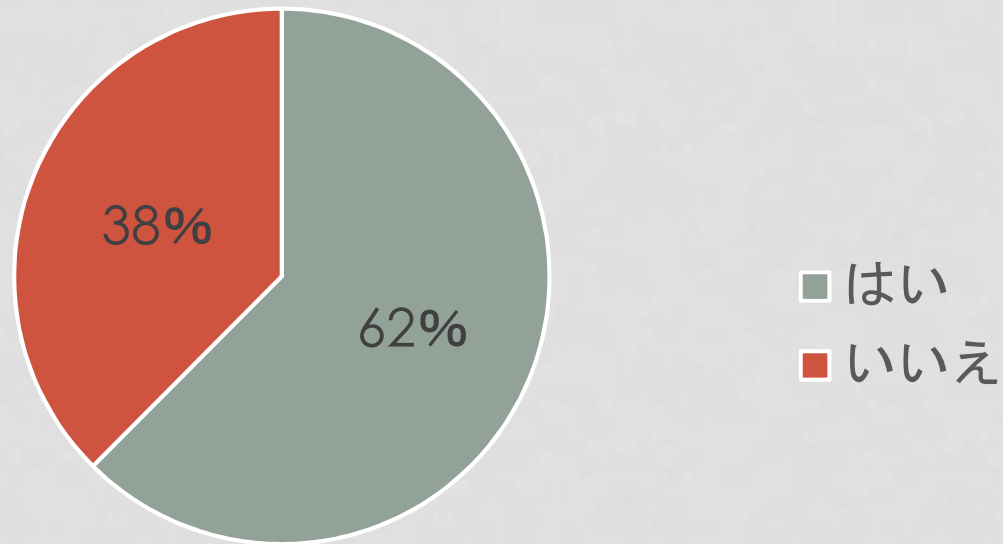
施設（竪坑櫓）の老朽化

市民アンケート実施
(R2年7月)



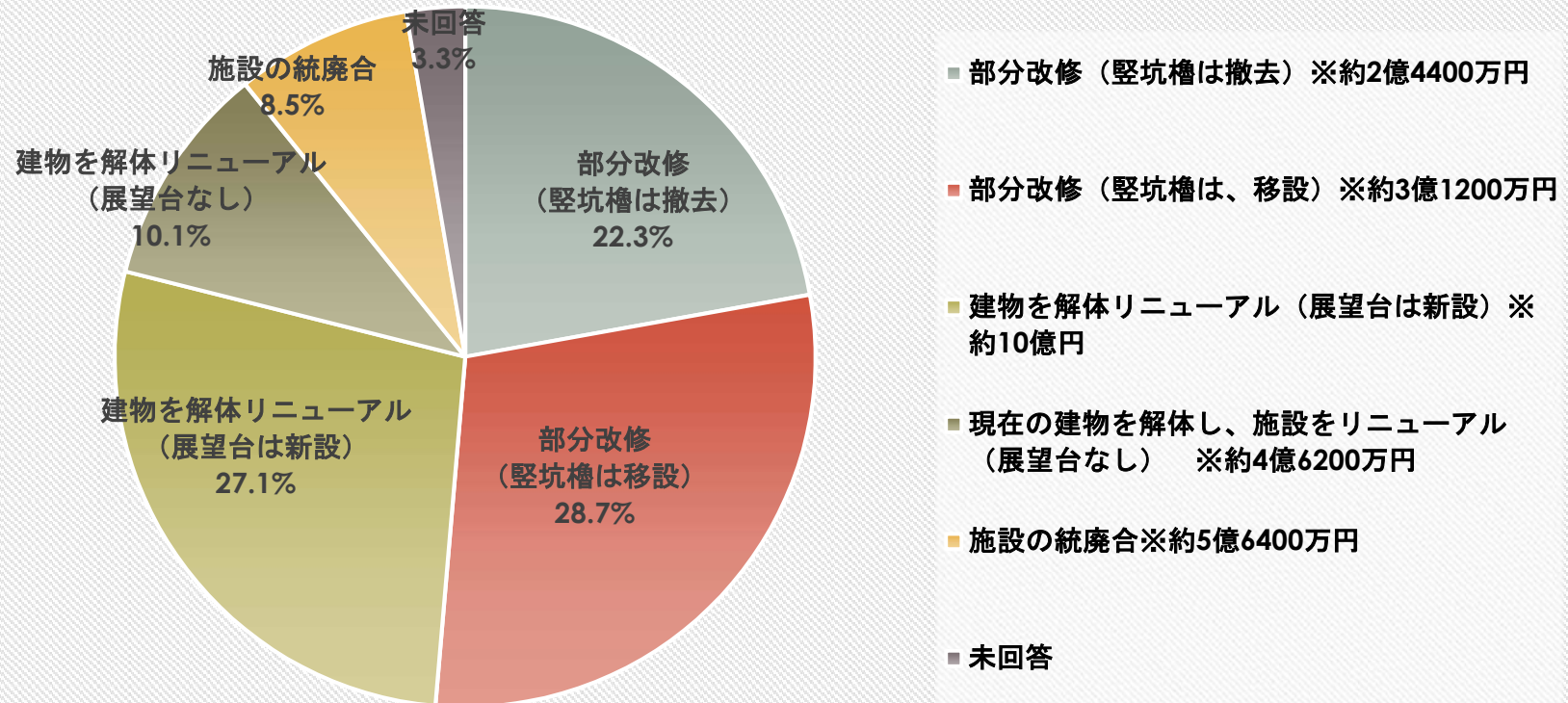
炭都 宇部の歴史・文化の継承

アンケート結果 ～石炭記念館改修への賛否

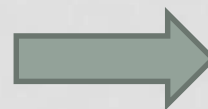


改修を認める意見が半数以上（62%）となった

アンケート結果 ～改修又は解体等について



部分改修が半数以上（53%）



堅坑櫓の撤去or移設で
パーセンテージが異なっている

施設の方角性（案）

1.改修の是非について

改修の方角で検討を進める

- （理由）①アンケート結果で62%が改修に賛成
②現建築物の耐震構造に問題があり、対応が急がれる

2.改修方法について

耐震補強を主とした部分改修とする

- （理由）①アンケートでは部分改修を支持する回答が過半数の51%
②建替えに比べ、費用を抑制できる

3.竪坑櫓（展望台含む）の改修または解体について

検討案の一つとして、展望台部分は撤去し、竪坑櫓のみを保存

- （理由）①炭都の歴史を象徴する建物のため